

## <第3部 計画の推進>

### 推進方策の目標

計画の進行管理については、目標に対する達成状況を把握するとともに、各年度の進行状況を調査・分析し、その時点における様々な要因による変化や国の動向等を踏まえ、必要に応じて計画の見直しを行います。

愛知県特別支援教育連携協議会や愛知県障害者施策審議会等の関係会議で、進捗状況の確認や評価を実施することで、PDCAサイクルによる計画の進行管理を確実に進めていきます。

項目	現況		目標	
	年度	数値等	年度	数値等
<b>第1章 連続性のある多様な学びの場における支援・指導の充実</b>				
<b>I 連続性のある多様な学びの場における支援・指導の充実</b>				
1 校（園）内支援体制の充実				
校（園）内支援体制を支える専門研修の充実	2023	13講座実施	毎年度	講座の実施
3 個別の教育支援計画・個別の指導計画の活用及び引継率の向上 (特別な支援を必要とする幼児児童生徒対象) ※名古屋市・私立を除く				
個別の教育支援計画作成率				
幼稚園	2022	97.8%	2028	100%
小学校		88.1%		
中学校		89.4%		
高等学校		74.0%		
(通常の学級)				
個別の指導計画作成率				
幼稚園	2022	100%	2028	100%
小学校		88.5%		
中学校		86.7%		
高等学校		81.8%		
(通常の学級)				
支援情報の引継率 ※名古屋市立中学校を除く				
公立中学校から高等学校等への引継ぎ	2023	74.8%	2028	100%
5 医療的ケアの体制整備の充実				
通学や校外学習における看護師付添い事業の実施	2023	モデル校 通学支援1校 校外学習1校	2028	対象校の拡大
6 交流及び共同学習の充実と副次的な籍に関する研究の推進				
副次的な籍にかかるモデル事業の実施	2023	—	2028	副次的な籍の導入判断
<b>II 幼稚園・保育所等</b>				
早期からの教育相談の充実				
早期教育相談の実施	2023	県内7会場 で実施	毎年度	相談の実施

項目	現況		目標	
	年度	数値等	年度	数値等
(第1章 連続性のある多様な学びの場における支援・指導の充実)				
Ⅲ 小中学校				
Ⅳ 高等学校				
通級による指導の充実				
通級による指導を実施している 県立高等学校	2023	6校	2028	実施校拡大
Ⅴ 特別支援学校				
1 外国人等の語学支援の必要な幼児児童生徒への対応				
外国人教育支援員の配置	2023	1,543時間	2028	必要に応じた 配置
2 児童生徒の心のケアの充実				
スクールカウンセラー(SC)、ス クールソーシャルワーカー(SSW) の配置	2023	SCを5校、 SSWを2校 の拠点校 に配置	2028	配置拡大
3 外部専門家の活用				
歩行訓練士、作業療法士等の外部 人材の配置	2023	各校に年6回 (各3時間) 配置	2028	配置拡大
第2章 全ての教員を対象とした専門性の向上				
Ⅰ 特別支援教育の専門性				
1 特別支援学校教諭等免許状の保有				
特別支援学校教諭等免許状の保有率の向上 ※名古屋市・私立を除く				
小中学校の特別支援学級担任	2022	25.9%	2028	全国平均を 上回る
特別支援学校		89.9%		100%
Ⅱ 幼稚園・保育所等、小中学校、高等学校				
1 特別支援教育に関する知識・理解の向上				
特別支援教育に関する研修への参加率 ※名古屋市・私立を除く				
幼稚園	2022	95.2%	2028	前年度を 上回る
小学校		95.4%		
中学校		95.0%		
高等学校		93.0%		
Ⅲ 特別支援学校				
1 特別支援教育に関する研修・研究の充実				
研修の充実	2022	理解度 98.4% アンケート調査	毎年度	理解度 90%以上 アンケート調査

項目	現況		目標	
	年度	数値等	年度	数値等
(第2章 全ての教員を対象とした専門性の向上)				
IV 市町村教育委員会、県教育委員会				
2 人事交流の活性化 ※名古屋市・私立を除く				
人事交流 〔小中学校から特別支援学校へ 特別支援学校から小中学校へ 高等学校から特別支援学校へ 特別支援学校から高等学校へ〕	2023	小中→特 31人 特→小中 5人 高→特 1人 特→高 2人	毎年度	人事交流の実施
第3章 学びの場を充実するための施設・設備等の整備				
I 合理的配慮のための基礎的環境の整備と充実				
II 小中学校 ※ハーフタイム勤務の再任用教員が担当する教室数を0.5教室として計上				
「通級指導教室」の設置	2023	536.5教室	2028	設置拡大
III 特別支援学校				
1 特別支援学校設置基準に基づく教育環境の整備				
同じ年齢や学年で学級を編成する	2023	31学級 (通常学級の複式学級)	2028	通常学級の複式学級の解消
2 学校の新設や校舎の増築				
西三河北部地区新設特別支援学校の整備	2023	基本設計	2027	新設開校
名古屋東部地区新設特別支援学校の整備	2023	基本設計	2027	新設開校
3 通学環境の改善				
スクールバス車両の計画的な更新 (肢体不自由特別支援学校)	2023	対象車両6台のうち3台	毎年度	対象車両の順次更新
6 老朽化や防災への対応				
体育館の空調整備 (全ての特別支援学校)	2023	55.9%	2028	100%
第4章 卒業後の生活への円滑な移行				
I 大学等の高等教育機関との連携				
卒業生の進学情報の発信 (在校生・保護者向け)	2023	-	2028	進学実績全ての情報発信
II 関係機関と連携した就労支援				
2 就労先の拡大				
特別支援学校高等部卒業生の一般就労の就職率	2022	就職希望者に対して 92.9%	2028	就職希望者に対して 100%
就労アドバイザーによる就労先等訪問件数	2022	765件	2028	前年度を上回る

